



大槌の復興から世界へひろがる海洋研究

「東北マリンサイエンス拠点」づくりに向けて

2012年1月から、「東北マリンサイエンス拠点」形成事業がスタートしました。漁業の復興へ大きな効果が期待されるこの事業について、中心となる国際沿岸海洋研究センターに事業の概要を聞きました。

「東北マリンサイエンス拠点」形成事業はなにを
目指すの？
沿岸センターを国際研究拠点として復興させ、
海を知り、魚が増えるしくみを知り、それを地元
の皆様によりやくやく伝えることを目指していま
す。大気海洋研究所は、全国16の大学と2つの水
産技術研究センターから160名以上の研究者、
大学院学生の力を結集してこの事業を推進しま
す。

国際沿岸海洋研究センターは？
大槌の地に東大大気海洋研究所の沿岸センター
が建つてから、2013年で40年経ちます。私た
ちは一刻も早く沿岸センターを大槌の地に復興さ
せたいと強く希望しています。そこは国際的な研
究拠点として世界から研究者がやって来るのも
ちろんのこと、さらに地元の皆様にも開かれた新
たな場として行く予定です。

魚が増えるしくみは？
三陸の地は長く漁業で栄えてきました。では、
なぜこの海域には魚が豊富なのでしょう。それ
を知るには物理学、化学、生物学の専門家らの力
を結集した研究が必要です。私たちは大槌周辺域
の魚が増えるしくみの解明を通じて、みなさんの
漁業のお手伝いをしていきたいと考えています。

海の中は？
2011年3月の震災のあと、海の中はどう
なっているのでしょうか。また、今後はどうなっ
ていくのでしょうか。私たちは海にモニタリング
機器を設置するとともに、研究船や潜水作業など
による観測を多角的に組み合わせ、最新の技術と
解析手法を駆使してそれを解明して行きます。

「東北マリンサイエンス拠点」づくりとは？

「東北マリンサイエンス拠点」形成事業は、文部科学省の
予算措置によって2012年1月よりスタートしました。

これは、地震と津波が沿岸海洋生態系に及ぼした影響を把握し、
その変動機構を解明するとともに、科学的なデータに
基づいて漁業復興を支援していくというものです。東北大学
(代表機関)、東京大学大気海洋研究所(副代表機関)、独
立行政法人海洋研究開発機構(副代表機関)の三組織が中心
となり、今後10年間に渡って緊密な連携のもとに調査・研
究活動を実施します。

大気海洋研究所は、岩手県大槌町の国際沿岸海洋研究セン
ターを拠点とし、生態系のメカニズムを総合的に明らかにし
ていくことを目指しています。学術研究船をも駆使して学際
的なアプローチを縦横に活かし、学内外の研究者の力を結集
します。



シンポジウムを開催します

大槌の復興から世界へひろがる海洋研究 —「東北マリンサイエンス拠点」づくりに向けて—

- 日時：7月16日(月・祝) 13:30～16:40 その後懇親会
- 場所：大槌町中央公民館 大会議室(懇親会は「おらが大槌復興食堂」)
- 主催：東京大学大気海洋研究所
- 共催：岩手県、大槌町、いわて海洋研究コンソーシアム、岩手県教育委員会、大槌町教育委員会、新おつち漁業協同組合、大槌商工会、岩手県沿岸広域振興局経営企画部産業振興課 0193-25-2701、東京大学大気海洋研究所 福井美沙 04-7136-6264

事業の問い合わせ先

東京大学大気海洋研究所附属
国際沿岸海洋研究センター復興準備室
〒028-1121
岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割金崎126
大槌町中央公民館内
Tel. 0193-42-5611, 5612

広報おつち Otsuchi 7

目次

- 3 大槌の復興から世界へひろがる海洋研究
- 4-5 復興局、町民課からのお知らせ
- 6 職員募集、町内各地の放射線量
- 7 大槌町地域包括支援センターのページ
楽笑幸齢者になろう！
- 8-9 大槌町カレンダー(7月5日～8月4日)
- 10-11 まちの話題あれこれ
- 12-13 城山の風 第53号
教育委員会だより
- 14-15 まちのお知らせ
- 16 安渡産 大槌復興米
編集後記



表紙
オーケストラを背に
雄々しく舞う大槌の虎
ロンドンのオーケストラと虎舞の競演。いつもと違う表情を見せる虎に、観衆も息をのんだ。(詳細は11ページ)